



発行日 平成 28 年 12 月 8 日  
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会  
神戸市中央区神若通 5 丁目 3 番 26 号  
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

## 30周年記念交流会 盛会のうちに終わる

記念すべき 30 周年朗読ボランティア連絡会交流会が、11 月 9 日（水）午後 1 時から、新長田ピフレホールにて開催されました。

朗V連の 26 グループと一般参加の方も含め、300 名を超える方々にご来場いただきました。そして、ご多用の中、公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団湯川常務理事はじめ、ご来賓や先輩幹事のご出席を頂き、盛会裏に記念交流会を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

第 1 部では、30 周年記念式典が行われました。第 2 部では、山田烈子氏の朗読を堪能し、第 3 部では、朗V連加盟グループの趣向を凝らした紹介に心を癒やされ、締めくくりは参加者全員による「お祭り」で思いっきり声を張りあげての、大盛り上がりの交流会でした。

第 1 部、第 2 部、第 3 部ともに充実した時間を過ごし、出席グループの活動紹介などで交流も深められたようです。楽しくあっという間のひと時でした。今後もさらに、会員の交流を深め、繋がりを強めてまいりましょう。

交流会にご参加くださった皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。貴重なご意見を真摯に受け止め、これからの活動に活かしていきたいと思えます。



### 朗 V 連 30 周年記念交流会に参加して

今回の参加で、継続の大切さ・日々の勉強の大切さプラスその楽しみや仲間との繋がりをより一層感じました。初参加の人の感想として「朗V連の歴史を知ることができよかった。」山田先生の朗読はさすが！感動し時間を忘れ作品の中に入り込みました。改めて生の朗読の魅力を感じました。

グループ紹介では、色々なグループが各地で様々に活動され、幅広い年齢の方々の積極的な活動、そのエネルギーに圧倒され感動しました。その人その人に応じた社会参加の形があるということに気づき、それが 30 年という積み重ねの成果でもあると思えました。次回 40 周年はグループ全員で参加できるよう頑張りたいと思えます。

朗読ボランティアグループ のぎく代表 守田 由美子

## 交流会アンケートより

### 朗V連30周年記念交流会について

- \* とても盛大で なごやかなうちにも厳しゅうで、参加して大変よかった。ますますこの会が発展することを祈ります。
- \* 様々な工夫、創意で会を盛り上げていただき、やる気が出て来ました。継続は力なりを信じて…
- \* この会を作った方、また継続のため尽力くださった方々のお顔とお声を聞くことができ、励まされました。
- \* 山田烈子氏の朗読 最高でした。ありがとうございました。
- \* 山田烈子先生の朗読 すばらしかったです。情景が浮かび深く感動しました。ありがとうございました。
- \* すばらしい記念の会でした。歴代幹事さんのご挨拶も、私達に勇気を与えてくださいました。これから40周年、50周年を目指して頑張っていきたいと思っています。
- \* 来賓の方々のご挨拶は良かったと思いますが、代表幹事の方々については、紹介だけで良かったのでは。
- \* 会場で前の座席がかなり空いていたのがとても残念でした。  
その他にも、多くのご意見、ご感想を頂きありがとうございました。今後の朗V連の活動に活かしていきたいと思っています。

## NHK 巡回朗読セミナー

10月3日～5日、神戸会場と姫路会場にてNHK巡回朗読セミナーが開催され、朗V連からも多数の会員が受講されました。アンケートによると、受講は今年「初めて」という方から「5回目以上」という方まで様々でしたが、今回のセミナーを受講して「大変勉強になった」が73%、「勉強になった」が19%、また、来年以降も「是非受講したい」が51%、「できれば受講したい」が39%という回答をお寄せいただきました。講師の先生および受講生の皆様からの声を紹介します。

### 神戸会場Aコース

#### 秋山隆先生からのメッセージ

受講の皆さんがよく講師のお願いに気を配っていただけて雰囲気の良い会でした。

#### 受講生アンケートからの抜粋

- ☆『ほめて育てるって方針かな?』やさしく具体的でわかりやすく教えていただき、なごやかな雰囲気です。セミナーを受けることができました。
- ☆緊張感の中にもわりにリラックス状態で学べて大変良かったです。時間が長いな…と気が重かったのですが、フツ飛んで楽しく学びました。
- ☆「意味のまとまりをまとめて話す」「イントネーション」等に注意を払いながら今後の朗読ボランティア活動に活かしたいと思います。

### 神戸会場Bコース

#### 受講生アンケートからの抜粋

- ☆作品にもよるのですが、先生の「話すように読む」という言葉と、間を恐れず息をしっかりと吸って頭出しするというお話が印象に残りました。
- ☆とてもわかりやすい指導でした。音の高さ、文のまとまりなど、今後の活動で是非いかしていきたいです。
- ☆秋山先生の素敵な声が印象的でした。長丁場で少々疲れましたが、これからの朗読の勉強にとってもいい刺激となりました。

## 神戸会場Cコース

### 岩井正先生からのメッセージ

きょうのCコースでは「息」の使い方を中心にセミナーを進めました。いわゆる「フレージング」です。文をフレーズ（意味）の単位でとらえて、各々その内容にふさわしい息を割り当てて、ひと息で言い切っていくという読み方です。いえ、これは「読み方」とはいえない「話し方」です。私には皆さんの表現がそれこそ生き生きと変わったように思え「文章を読む」とは「息で話す」ことだと実感しています。皆さんは良く付いて来て下さいました。

### 受講生アンケートからの抜粋

☆レベルが高くて全て消化吸收できないくらいでしたが、とても刺激的なセミナーでした。  
☆くわしく丁寧でよくわかる講義でした。年に4回くらいあればいい。春と秋のセミナーは続けてほしい。1クラス8名くらいにするか、1コース2教室に増やしてほしい。

## 姫路会場Bコース

### 秋山隆先生からのメッセージ

参加は9人（うち男性1人）。テーマは「話すように読む」。「読む」と「話す」の違いについて解説。実際に作品に即しての実習をする中で、「読み」から「伝える調子」に変わる人、その途中などさまざまである。文頭、意味のまとまりの第一音に息を使ってハズミをつけるように出てゆく息。文と文、段落のまとまりをハッキリさせる息の切りかえを実習。皆熱心に声を出していた。いい会だった。

### 受講生アンケートからの抜粋

☆初めて参加したのですが、大変解りやすい先生で良かった。読むというより話すということが大切だとわかっていてもなかなか表現できないので、また勉強したいと思います。  
☆先生が毎年違っていますが、それぞれの教え方があり納得しています。  
☆とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

## 姫路会場Cコース

### 岩井正先生からのメッセージ

神戸会場にお集まり下さった方々と一緒に、とても熱心に朗読に取り組んでいらっしゃる様子がうかがえて充実したセミナーになりました。とても反応が良く、かなり難しい注文にすぐに対応して下さいました。関西特有の母音の伸びが常態の中で共通語の歯切れ良さがどれだけ取り入れられるか心配しましたが、それも十分に受け入れて下さいました。

### 受講生アンケートからの抜粋

☆とても基本的なことをわかりやすく教えて頂きました。  
☆今回のように良い所、悪い所を具体的にはっきりと指摘してもらえると本当にありがたい。自分の次の課題は何か、ポイントがいくつか把握できたのは、とても有益だった。  
☆神戸まで出かけていたのが姫路でして頂けるのは本当に有難いです。

## NHK巡回朗読セミナーに参加して

冒頭から、NHK ラジオ(土)21:30 放送の『名作を読む』をお聞かせ下さったり、此度の3つのテキストの原作本や、作品の背景をイメージ出来るようにiPadの写真を回覧して下さいたりと、あの手この手でイメージングさせて下さいました。

Cコースは上級者コース!! 岩井先生の熱いご指導に必死でついていきました。

「よく、話すように読む!と申しますが、話すように!ではなく、話して下さい!!(笑)」  
この、岩井先生のお言葉に、はっ!と致しました。場の空気感&余韻を大切に、聞き手の間で、聞き手と一緒に作者の思いを共有することこそが、朗読の醍醐味なのですね!

聞き手のワクワク感、目の輝きを感じながら読める…いや、話せる朗読者を目指したいと思いました。朗読とは何と奥深く心ゆさぶられるものなのでしょう。  
自分自信の朗読の未熟さを思い知らされました。まだまだ!! 今一度、新たな心持ちで精進してまいりたいと思います。

トビアの会 茨木万記子

## ♪♪中山ワンダフルフェスタに参加して♪♪

中山視覚障害者福祉財団様の支援事業の一つである音楽公演事業に初めて参加させていただきました。今回は2部構成になっており、第1部は盲学校の元教頭で71歳の現在も視覚障がいのある子どもを支援されている竹内昌彦氏の講演でした。多くの苦難を乗り越え歩んでこられた竹内先生のお話に感動し込み上げるものがありました。第2部は海援隊のトーク&ライブ。武田鉄矢さんのユーモアあふれるトークの合間(?)に懐かしい歌が演奏され、3人の美しいハーモニーを満喫しました。会場は手拍子と笑いに包まれ楽しいひと時を過ごすことができました。

せせらぎ 玉田 礼子



## アイライトフェア2016に参加して

「中途視覚障がいによる離職を考える」というテーマで、パネルディスカッションが行われました。そういう場合、「とにかく、辞めてしまわないで、職場・眼科医・関係機関に相談して、訓練を受けるように」との助言。でも、指導者不足など、問題も多く雇用率は低いのが現状だそうです。会場から「当事者が声をあげなくては！」との声。何か協力できれば・・・と思いました。

N. O

### お詫びと訂正

先日会員の皆さまにお配りした『30周年記念誌』(2016年11月1日発行)の中で、下記のとおり記載に誤りがありました。

◆3ページ 第5期幹事、実際は10名のところ、8名で記載されていました。

平松 翠	東浦町	ひとみの会	上田 照代	丹南町	松ぼっくり
------	-----	-------	-------	-----	-------

※上記2名を第5期幹事に追加し、訂正をお願いします。(丹南町は当時の町名表示です)

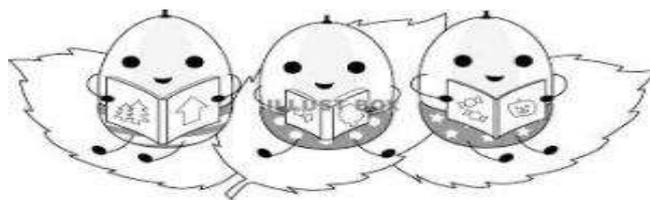
◆5ページ 第16期幹事 国重真由美(誤) 国重眞由美(正)

◆6ページ 第17期幹事 國重眞弓 相生市(誤) 國重眞由美 たつの市(正)

関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫びいたします。

朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら下記担当幹事までお知らせください

ブロック	地 区	氏 名
A	東部・北部地区	鈴木 由子 (篠山市 山うぐいす)
B	神戸・明石地区	大永 親子 (明石市 明朗会)
C	淡路地区	吉住 ミチエ (グリーンポエム)
D	東播地区	山本文子 (加西市 かしの実G)
E	西播地区	玉田 礼子 (たつの市 せせらぎ)



### 編集後記

☆ 朗V連30周年おめでとうございます。私は、倍以上生きていますが、まだまだドキドキします。(ふ)

☆ “各地で近年にない美しい紅葉”とのニュースに地元の山を見るといつの間にか綺麗に色付いていました。自然の魔法に感激です。(た)